

マルチマテリアル接合技術セミナー

低炭素社会の実現に向け、自動車においてはハイブリッド車や電気自動車などの開発、エンジンの高効率化などとともに、車両の軽量化が重要かつ緊急性の高い課題となっています。そのため、自動車部品の軽量化が求められ、新素材と既存材料とのマルチマテリアル構造の接合技術が必要となっており、自動車メーカーや材料メーカー各社が参加して開発が進められています。

今回は、この開発プロジェクトマネージャーである平田先生をお招きし、開発動向についてご講演していただきます。業界の動きを知る絶好の機会となります。皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】 令和1年7月30日（火） 13:30～15:30

【会 場】 ひたちなかテクノセンター 3階研修室（ひたちなか市新光町38）

【定 員】 50名・先着順（申込み締切り：7月25日（木）17時まで）

【参加費】 無料

プログラム

13:30 開会

13:35 講演『マルチマテリアル接合技術の開発動向』

【講師】大阪大学国際共創大学院 特任教授 ISMAプロジェクトマネージャー
平田 好則 氏

ISMA/NEDOプロジェクトは自動車をはじめとする輸送機器の軽量化を通して、エネルギーを節約し、CO₂排出量を削減することを目的としている。具体的には、軽量化に資する超ハイテン材やアルミ、マグネ、CFRPなどの材料開発が行われ、これらの開発材料と既存材料から成るマルチマテリアル構造の接合技術開発を行っている。本講では継手性能を確保する観点から、超ハイテン材の接合ならびに異材接合技術の開発動向について紹介する。



〈講師プロフィール〉

1976年大阪大学大学院修士課程を修了し、日立造船㈱に入社、圧力容器の溶接技師。1978年大阪大学助手任官、講師・助教授を経て、2004年教授。アーク溶接プロセスにおけるプラズマ・溶滴移行・溶融池現象の電磁熱流体解析などを研究。文部科学大臣賞、溶接学会論文賞、国際溶接学会(IIW)パトン賞、日本工学教育協会・工学教育賞など受賞。溶接学会会長、IIW理事、日本溶接協会理事など歴任。2016年に定年退職、現在、大阪大学名誉教授、大阪大学国際共創大学院特任教授、ISMAプロジェクトマネージャー。

14:45 今後の行事予定のご案内

15:00 アンケート記入，名刺交換（15:30 終了）